

特別賞

元 株式会社発明通信社顧問／元 関西特許情報センター振興会理事
山田 和彦

ご功績について

山田氏は、松下電器産業株式会社（現 Panasonic）へ入社され、松下技術情報サービス代表取締役、株式会社発明通信社常務取締役を歴任されますとともに、2007年に関西特許情報センター振興会の理事に就任されました。

松下電器産業株式会社時代から知財情報の流通・活用に関われ、特許庁ペーパーレス計画や大阪夕陽丘図書館の知財情報の充実など、日本の知的財産情報の普及に尽力されました。

特に2007年の関西特許情報センター振興会創立50周年記念事業として「特許検索競技大会」の開催に尽力されました。また、2008年から2010年までは、独立行政法人工業所有権情報・研修館と関西特許情報センター振興会が共催し、現在は一般財団法人工業所有権協力センター主催の特許検索競技大会の礎を築かれました。特許検索競技大会は、サーチャーの地位向上、スキルアップに大きく貢献しております。

さらに、関西特許情報センター振興会の解散にあたり、ソフトランディング委員会委員長としてこの財産処分について一般財団法人日本特許情報機構（Japio）に寄付金として提供することとし「特許情報普及活動功労者表彰（以下「功労者表彰」）」について2012（平成24）年度からの設立に多大な貢献をされますとともに功労者表彰の運営におきましても多大な尽力をなされました。

【山田氏は、2024（令和6）年にご逝去されました。】



（Japio YEAR BOOK 2012 特集 より転載）

株式会社発明通信社 代表取締役社長 山縣大輔様よりお言葉をいただきました。

この度、山田和彦様が特別賞を受賞されたことを、大変嬉しく存じます。

山田様は松下電器産業時代から、ご自身の会社にとどまらず業界全体を見据えた知財情報の活用・普及・発展にご尽力されており、そのご活動・ご活躍についてはご本人や周りの諸先輩方から折に触れ伺っておりました。特許情報の電子化をはじめとした今日の知財情報のスタンダードは、山田様を始めとした諸先輩方の長年のご努力の上に成り立っております。

今回、そのご功績が改めて広く認められましたことを、山田様もきっとお喜びのことと存じます。

心よりお慶び申し上げますとともに、ご遺族の皆様にも謹んでご報告申し上げます。